



ふくしま。 GAP導入マニュアル

目次

P1-8 GAPの管理点とその取組

- ・1-2 食の安全を目的とした取組
- ・3-4 環境保全を目的とした取組
- ・5-6 労働安全を目的とした取組
- ・7 農業生産工程管理全般に係る取組
- ・8 放射性物質対策を目的とした取組

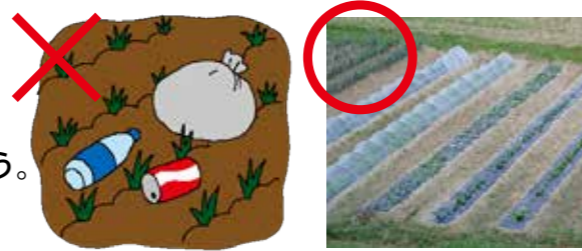
P9 団体認証について

食の安全を目的とした取組

Question ほ場や作業場の汚染を防止するにはどうすれば良いですか？

Answer 施設が整理整頓され、清潔に保たれている。
汚染される可能性について、あらかじめ把握し、対応している。

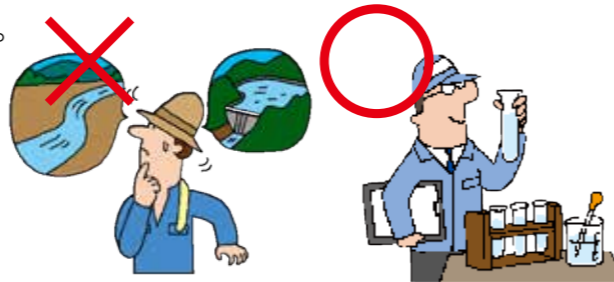
ヒント いつ人に見られても大丈夫なくらい常に
ゴミを片付け、ほ場をキレイに保ちましょう。



Question 使用する水の安全性を確認していますか？

Answer 栽培等に使用する水は、その水源を把握するとともに
水質検査などで安全性を確認している。

ヒント 水源を把握しリスクを確認しましょう。
水質検査を実施しましょう。



Question 農薬は、適切に保管・使用していますか？

Answer 使用毎に容器・ラベルの表示内容を確認し、
適切に使用・保管しましょう。

ヒント 農薬は整理して保管しましょう。



Question 周辺作物に農薬が飛び散らないよう注意していますか？

Answer 農薬散布時には、
周囲への影響が少ない散布法を実施している。

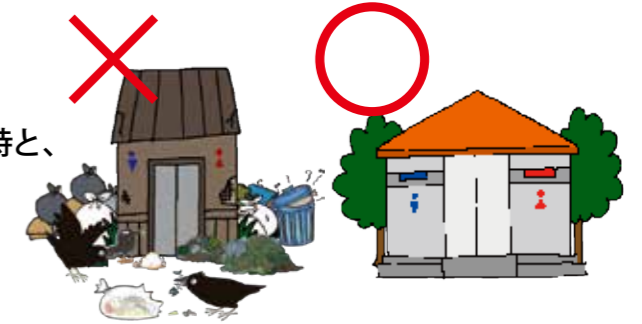
ヒント 気象条件を考慮して、風の強い日などには
農薬散布は行わないようにしましょう。
周辺環境に飛散が少ない散布器具を使用しましょう。



Question ほ場や施設から通える所で、手洗い設備やトイレ設備の確保と衛生管理を実施していますか？

Answer 手洗い設備やトイレ設備を確保し、
衛生的な状態を維持している。

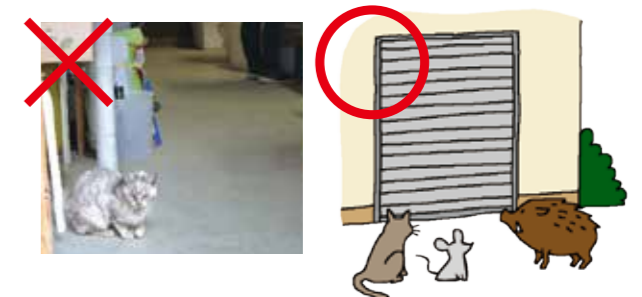
ヒント 手洗い・トイレ設備の確保かつ衛生維持と、
不備があれば速やかな改修を
実施しましょう。



Question 栽培施設の適切な衛生管理を実施していますか？

Answer 施設内に有害生物が侵入、
生息しないようにしている。

ヒント ペット、鳥獣、昆虫の作業場への侵入は
可能な限り排除しましょう。
人がコントロールできないものは、
全てリスクです。



Question 農作物の品質低下を防ぐ取扱いをしていますか？

Answer 収穫、輸送、保管等の各工程で、
品質低下を防ぐ工夫をしている。

ヒント 収穫後、速やかに乾燥作業を実施しましょう。
青果はコールドチェーン、鮮度保持フィルム等の
対策を行いましょう。



Question 収穫・調整・選別時の汚染や異物混入を防止する対策実施をしていますか？

Answer 髪の毛などの異物混入を防止する
対策を実施している。

ヒント 収穫した農作物の近辺で喫煙や飲食等をせず、
指定場所のみで行いましょう。
髪の毛、ピン留め、アクセサリー等の
混入を防ぐ服装をしましょう。



環境保全を目的とした取組

Question 散布農薬は、必要量を計算して調整し、使用残が出ないようにしていますか？

Answer 農薬散布時には、必要量を適切な器具を使い調整し、その都度使いきる。

ヒント 散布面積から必要量を計算して、農薬を使いましょう。



Question 病害虫が発生しにくい栽培環境づくりに努めていますか？

Answer ほ場と周辺の適切な管理により、病害虫の発生しにくい環境づくりを行っている。

ヒント 病害虫等の発生源となる植物を除去(畦畔の草刈等)しましょう。



Question 農薬と他の防除手段を実施して、農薬使用量の低減に努めていますか？

Answer 農薬と農薬以外の防除手段を組み合わせるなど、持続可能な農業に積極的に取り組む。

ヒント マルチ栽培技術の導入、防虫ネット、IPM 等を活用しましょう。



Question 土壌診断の結果を基にして、堆肥設計を行っていますか？

Answer 土壌診断を活用し、県の施肥基準、JAの栽培暦等を踏まえて堆肥設計を行い、その計画に基づいた施肥を行う。

ヒント 土壌診断や施肥基準等を活用しましょう。健全な土づくりにより、地力を高めましょう。



Question 堆肥を施用する場合は、適切に堆肥化されたものを使っていますか？

Answer 施用する堆肥には完熟堆肥を使用している。

ヒント 外来雑草種子等の殺滅のため、70℃の発酵が数日間続くように努めましょう。切り返しなどにより、全体に空気が入るように努めましょう。堆肥供給リストを活用し、優良堆肥の獲得に努めましょう。



Question 廃棄物の適正な処理(法令上義務)、不適切な焼却を回避(法令上義務)していますか？

Answer 廃棄物はしっかり分類し、飛散・流出しないようにルールや法令を遵守し適切に処理している。

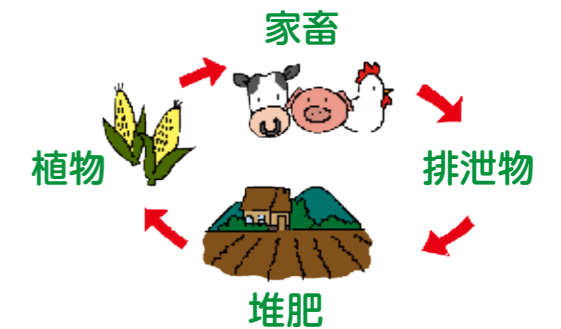
ヒント 廃棄物は、品目別に場所を決めて表示し、環境に支障のないよう保管しましょう。資格のある産業廃棄物処理業者に廃棄物の処理を委託しましょう。農業により排出されるものは、産業廃棄物又は事業系一般廃棄物です。(家庭ゴミではありません)



Question 作物残さ等の有機物のリサイクルを実施していますか？

Answer 堆肥化してほ場に還元するなど、有効活用している。

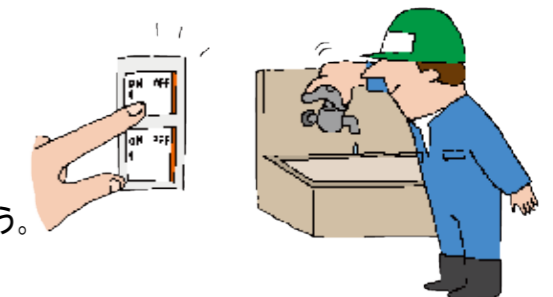
ヒント 堆肥の原料、畜舎の敷料等の用途へ仕向けをしましょう。



Question 省エネを心がけていますか？

Answer 機械や施設の効率的な運転を行い、エネルギー消費を抑えることに努めている。

ヒント 不必要な照明を消灯するなど、電力の消費を極力抑えるようにしましょう。機械類導入の際は、省エネ効率の高い機種を選びましょう。

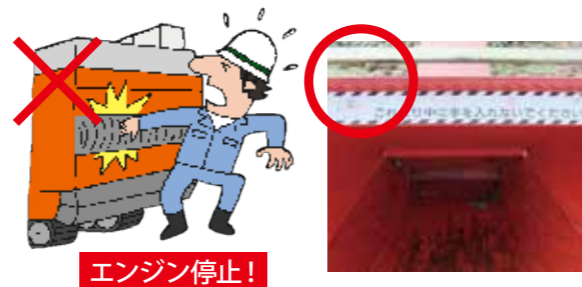


労働安全を目的とした取組

Question 農業活動において危険な作業等を把握していますか？

Answer 危険性の高い作業を把握し、事故を最小限にとどめるための対策を講じている。

ヒント 安全に農作業を行うために注意を呼びかけましょう。



Question 安全を考慮した服装で作業していますか？

Answer 安全に作業を行うための服装や保護具を使用している。

ヒント 作業の環境に合わせてメガネやマスク、ヘルメットや滑りにくい靴等を着用しましょう。



Question 農作業事故につながるおそれのある環境を改善していますか？

Answer 危険箇所の注意喚起をし、作業環境をできる限り改善している。

ヒント 危険な場所には注意を呼びかける表示板を設置しましょう。



Question 機械、装置、器具等の安全を確認し、使用前後の点検整備と適切な管理をしていますか？

Answer 作業前に各機械の整備・点検、故障箇所の修理を行っている。

ヒント 使用前に機械等の安全装置を確認し、整備されていない場合は使用を禁止しましょう。



Question 機械、装置、器具等は適切に使用していますか？

Answer 取扱説明書をよく確認し、適正な操作をしている。

ヒント 取扱説明書をよく読み、捨てずに保管しましょう。



Question 毒劇物に該当する農薬は適切に管理していますか？

Answer 鍵のかかる保管庫で保管し、一目見てわかるようにしている。

ヒント 「医薬用外毒物」「医薬用外劇物」等の表示をし、保管庫に鍵をかけましょう。



Question 燃料は適切に管理していますか？

Answer 火気のない場所で保管し、燃料のそばでの機械・工具の使用を避けている。

ヒント 火気のない場所で保管しましょう。保管場所には、「火気厳禁」「可燃物」などの表示をしましょう。

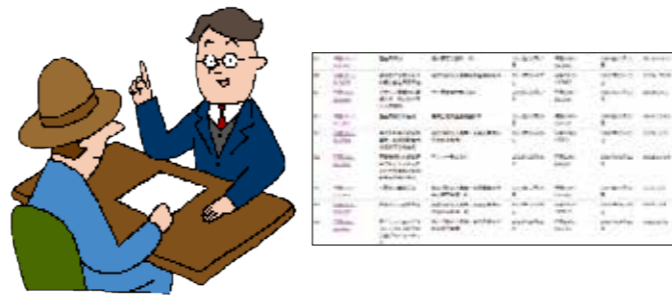


農業生産工程管理全般に係る取組

Question 農業者自らが開発した技術・ノウハウ(知的財産)の保護や活用をしていますか?

Answer 適切に保護するとともに、必要に応じて活用している。

ヒント 活用手段の適切な選択(権利化・秘匿・公開)をしましょう。



Question GAPマネジメントサイクルを実施していますか?

Answer チェックリストを基に、計画策定、実践・記録、点検・評価、改善を行っている。

ヒント 定期的に自己点検を行い、改善点を把握しましょう。



Question 適期収穫で品質を保持していますか?

Answer 作物に適した時期に収穫を行っている。

ヒント 年間を通したスケジュールを立てましょう。



Question 研修会等へ参加し、情報の習得をしていますか?

Answer GAP、病害虫防除基準、放射性物質対策等に関する情報を収集している。

ヒント 積極的な研修会への参加やパンフレット等を活用して情報を収集しましょう。



放射性物質対策を目的とした取組

Question ほ場内の落葉等は除去していますか?

Answer ほ場周辺に森林や遊休地等の放射線量が高い場所がある場合は、そこから落葉やごみ等がほ場内に入らないようにしている。

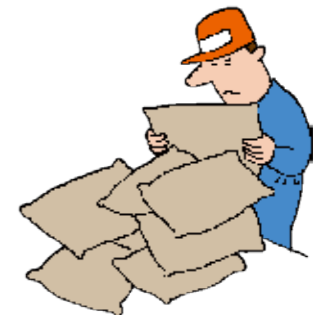
ヒント ほ場内の落ち葉や落ち枝はきれいに片付けましょう。



Question 収穫・乾燥・調製時に土壌や異物が混入しないようにしていますか?

Answer 米袋やフレコンバッグに汚れやごみ等の付着がないことを確認している。

ヒント 汚れやごみが付着した米袋等は利用するのをやめましょう。



Question 作物への放射性セシウム検出要因の理解を把握(リスクの把握)をしていますか?

Answer 福島県で発表している技術資料を確認している。

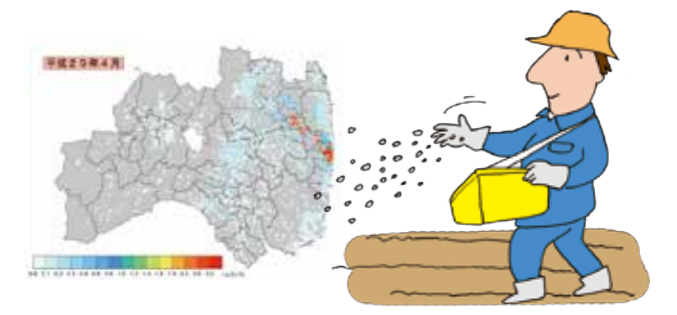
ヒント 福島県のホームページを確認しましょう。



Question 周辺環境や資材の選定を確認していますか?

Answer 適切なカリウムを施肥している。

ヒント 地域で取組んでいることが多いので、農林事務所やJAに確認しましょう。



団体認証を目指しましょう

団体認証に取り組むことで、個々の生産者の負担が軽減されます。
複数の生産者が集まってグループを構成し、認証取得を目指しましょう。



団体認証のメリット

費用負担
軽減

審査費用、農薬残留分析費等、グループが大きくなるほど
個々の費用負担が軽減

労力
軽減

●事務局と農場の役割を分けることができるため **個々の労力が軽減**
●内部監査、審査を個々でバラバラに行うよりも集約して行うことで **効率が高まる**

ブランド力
強化

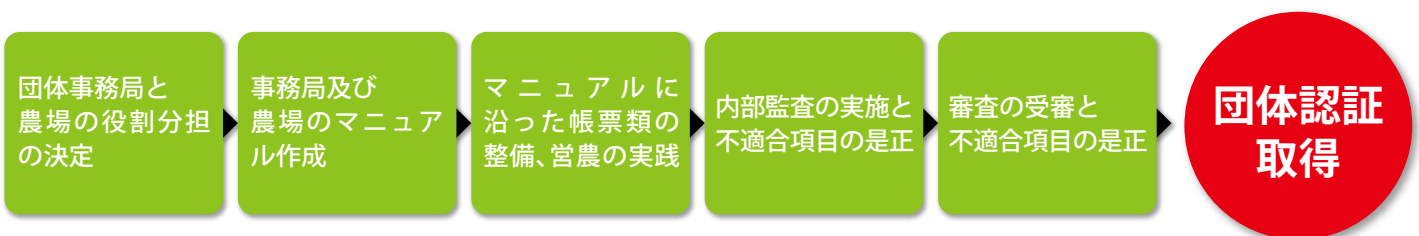
●GAPを活用した **強い産地づくり** ができる
●農産物と地域全体の **ブランド力・信用力の強化** ができる

●組織として対応することで
マネジメント機能が強化 される

団体認証取得のポイント

- 共通認識の共有 → 全員でGAPに取り組む意識を持つこと
- 組織体制の確立 → 事務局と農場の役割分担

団体認証までの流れ



団体認証の注意点

- 組織の現状や目指す姿を十分に検討し、GAP導入の手法を適切に選択しましょう
- GAPへの理解や意気込み、農場の整備状況に個人差が出てしまうのでよく話し合いましょう
- 団体構成が大人数、広域的になっても問題ない組織作りをしましょう
- リスク対策を実施しながら実行可能なマニュアル作りをしましょう